



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括本部 (氏名) 内山 毅彦 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,904	△0.1	281	△15.9	311	△21.6	182	△25.9
26年3月期第1四半期	4,909	△5.1	335	△15.0	397	1.6	245	△1.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 149百万円(△66.1%) 26年3月期第1四半期 441百万円(116.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	14.14	—
26年3月期第1四半期	18.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	23,600	18,807	79.7
26年3月期	23,606	18,863	79.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 18,807百万円 26年3月期 18,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,190	0.2	680	21.6	710	15.4	395	5.1	30.63
通期	20,580	3.7	1,710	39.1	1,760	33.5	1,060	15.0	82.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期1Q	13,056,198株	26年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	162,313株	26年3月期	162,263株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期1Q	12,893,898株	26年3月期1Q	13,450,409株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、政府による経済対策や日本銀行による金融政策により緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税の影響や海外における政情不安等の懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても原材料価格、燃料価格の上昇が続くなか、消費税増税に伴う生活防衛意識や節約志向が続いており、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「Change & Challenge」の2年目にあたり、中期経営計画の最終目標である連結営業利益22億円を達成するために、当連結会計年度の営業利益目標17億円を全社一丸で掴み取るべく“Catch up 17 to 22”を合言葉に、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、i. ROE経営の指向、ii. 経営陣の刷新と執行役員制度の導入、iii. 新事業領域の開拓、iv. 新工場の稼働、v. 営業体制の抜本的改革、vi. 有力商品の開発・上市、vii. 有償ストックオプションの導入など、販売及び開発の体制を見直し、既存事業を強化しつつ新たな分野への仕掛けを始めています。また、製造面では、新掛川工場は8月28日の竣工に向け工事が進んでおり、生産性及び品質の向上に向けた取り組みやBCP対策も着実に進んでおります。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

連結売上高につきましては、水産物が伸長したものの、機能性食品素材が競争激化に伴う取引先の受注減少、医療栄養食におけるOEM生産の減少などにより機能食品が減少し、49億4百万円(前年同四半期比5百万円、0.1%減)となりました。利益面につきましては、原材料価格、燃料価格等の上昇により連結営業利益は2億81百万円(同53百万円、15.9%減)となりました。連結経常利益は前期の為替差益が為替差損に転じたことなどから3億11百万円(同85百万円、21.6%減)、連結四半期純利益は1億82百万円(同63百万円、25.9%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高はほぼ前期並みの20億95百万円(前年同期比1百万円、0.1%減)でしたが、セグメント利益(営業利益)は、2億96百万円(同13百万円、4.4%減)となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、機能性食品素材が競争激化に伴う取引先の受注減少、医療栄養食におけるOEM生産の減少などにより機能食品が減少し、売上高は14億50百万円(同1億93百万円、11.8%減)、セグメント利益(営業利益)は1億35百万円(同81百万円、37.5%減)となりました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮭・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。鮭の受託加工が好調に推移し、売上高は10億49百万円(同1億64百万円、18.6%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、前期から続く原料高の影響で15百万円(同7百万円、31.2%減)となりました。

(その他)

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は3億8百万円(同25百万円、9.1%増)、セグメント利益(営業利益)は17百万円(同13百万円、281.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、236億円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が1億45百万円、原材料及び貯蔵品が2億19百万円増加した一方、現金及び預金が10億30百万円減少したことなどにより7億13百万円減少し、119億25百万円となりました。

固定資産は、新工場の建設に伴う建設仮勘定が8億47百万円増加したことなどにより、7億7百万円増加し、116億75百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が5億円減少した一方、支払手形及び買掛金が4億21百万円、賞与引当金が1億2百万円増加したことなどにより、96百万円増加し30億38百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が35百万円減少したことなどにより、46百万円減少し17億54百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定が24百万円減少したことなどにより55百万円減少し188億7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は79.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,978,999	3,948,446
受取手形及び売掛金	4,260,203	4,405,225
商品及び製品	1,175,184	1,163,174
仕掛品	184,652	151,219
原材料及び貯蔵品	1,700,701	1,920,409
繰延税金資産	62,840	62,318
その他	283,747	283,071
貸倒引当金	△7,796	△8,466
流動資産合計	12,638,533	11,925,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,215,524	2,168,561
機械装置及び運搬具(純額)	1,202,717	1,143,178
土地	3,000,335	3,000,335
リース資産(純額)	45,555	41,318
建設仮勘定	1,064,668	1,912,666
その他(純額)	56,872	58,786
有形固定資産合計	7,585,674	8,324,847
無形固定資産		
128,080		111,933
投資その他の資産		
投資有価証券	3,080,410	3,068,653
繰延税金資産	4,464	3,010
その他	177,825	175,413
貸倒引当金	△8,621	△8,621
投資その他の資産合計	3,254,079	3,238,456
固定資産合計	10,967,833	11,675,238
資産合計	23,606,367	23,600,638

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,446,900	1,868,356
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	19,655	19,676
未払法人税等	41,430	107,745
未払消費税等	64,793	67,415
賞与引当金	120,503	223,119
役員賞与引当金	—	4,500
損害補償損失引当金	—	21,000
その他	548,775	526,346
流動負債合計	2,942,059	3,038,159
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,300,000
リース債務	30,812	25,938
繰延税金負債	338,903	332,948
退職給付に係る負債	117,561	82,228
長期未払金	13,434	13,434
固定負債合計	1,800,712	1,754,549
負債合計	4,742,771	4,792,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,143,860	11,119,880
自己株式	△135,023	△135,069
株主資本合計	18,040,613	18,016,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,775	717,431
為替換算調整勘定	97,207	73,049
その他の包括利益累計額合計	822,983	790,481
新株予約権	—	860
純資産合計	18,863,596	18,807,929
負債純資産合計	23,606,367	23,600,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,909,494	4,904,205
売上原価	3,725,147	3,834,366
売上総利益	1,184,347	1,069,839
販売費及び一般管理費	849,190	788,138
営業利益	335,156	281,701
営業外収益		
受取利息	2,523	2,498
受取配当金	28,455	31,710
受取賃貸料	4,447	658
為替差益	13,413	-
その他	14,706	11,354
営業外収益合計	63,546	46,222
営業外費用		
支払利息	75	325
為替差損	-	6,211
その他	943	9,610
営業外費用合計	1,018	16,147
経常利益	397,684	311,775
特別利益		
投資有価証券売却益	7,434	-
特別利益合計	7,434	-
特別損失		
固定資産除却損	6,857	120
損害補償損失引当金繰入額	-	21,000
会員権売却損	-	390
特別損失合計	6,857	21,511
税金等調整前四半期純利益	398,262	290,263
法人税等	152,287	107,941
少数株主損益調整前四半期純利益	245,975	182,322
四半期純利益	245,975	182,322

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	245,975	182,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149,476	△8,343
為替換算調整勘定	46,477	△24,158
その他の包括利益合計	195,953	△32,501
四半期包括利益	441,928	149,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,928	149,820
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

四半期連結貸借対照表

前連結会計年度において「商品及び製品」に含めていた一部たな卸資産について、計上科目の見直しを行い、当第1四半期連結累計期間より「仕掛品」へ表示方法の変更を行っております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「商品及び製品」として表示していた1,359,837千円は、「商品及び製品」1,175,184千円、「仕掛品」184,652千円として組替えております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,097,631	1,643,628	885,446	4,626,706	282,788	4,909,494	—	4,909,494
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	—	—	1,543	1,543	—	1,543	(1,543)	—
計	2,097,631	1,643,628	886,989	4,628,249	282,788	4,911,037	(1,543)	4,909,494
セグメント利益	310,411	216,180	22,634	549,226	4,635	553,862	(218,705)	335,156

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額218,705千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,095,836	1,450,087	1,049,823	4,595,747	308,458	4,904,205	—	4,904,205
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	—	—	4,150	4,150	—	4,150	(4,150)	—
計	2,095,836	1,450,087	1,053,974	4,599,898	308,458	4,908,356	(4,150)	4,904,205
セグメント利益	296,629	135,070	15,580	447,280	17,703	464,983	(183,282)	281,701

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額183,282千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。